2810

へ13
2810

旧遠
2132
27

辰巳之園敏

京都辰巳廉社任紀

辰巳有樂吏者字治山

是吉深川屋契園之

邊樓構婦之鄉也勤

鄭庭文庫

憲〻書集者家少四之
忘者号之居題
之韓何集注皇甫之
号忠時顧邸井之
姓者家崔閑之崔沔

參人重之
梅隱 梅井之
擔京鄉 出京橋
再板

大福帳五十嵐の稚六
廣寿うち指年の
稚とうやいろを

那覇と
ほし指を
もの摸

自ら庵
雅年

自序

富貴貧賤人情常の如し倉を満し財を積
み堂塔光輝の美しく日々に孫子繁昌
あるべきなり二乃人家やそのかの中しじまりの茶屋
おのの夫婦いとは移りそよそ月人
月夜の人あるべしとて
たのしみ
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

ぺぺりさとかといふ言葉を言へば、ぺぺ
ぺぺりさとかとの事ばらまてくを
ふたてをたわりて振くいふのあるを、ぺぺ
ぺぺりさとかとの事ばらまてくを
ぺぺりさとかとの事ばらまてくを
ぺぺりさとかとの事ばらまてくを

わらべうたのうち、おもしろきものとして、
まりのうたの、
宝者は、ぺぺ井よ水のながれ川のつを
けあり。ぺぺふ長童の業の浜のたをを
ちもしくしたくしくなるを、ぺぺ
のうりうの絵書なる、ぺぺ常深川
ちのぺぺもこれわかりうたば言葉の見と

春日風雲[illegible]おもしろ[illegible]
[illegible]上野[illegible]
[illegible]
[illegible]東の[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]の日和や秋とちがひ大きなる[illegible]
さんけ[illegible]種蒔ひ男ゞ[illegible]まぐわ[illegible]とあり[illegible]
如雷さんといふて[illegible]の海のあやござりやせん
[illegible]の[illegible]流れとなつて花[illegible]
めいちがいさる黄むしのやうなる[illegible]後の[illegible]
海のわきをだわりたるいさの裏はけ[illegible]
くとまり[illegible]だまりのうかんさる海
の[illegible]ようでそうりぶ[illegible]大小と丹ぎりしたさん
のぶ[illegible]海の[illegible]と掛る。[illegible]

[illegible]涙の[illegible]筆の涙のあるかさやうに[illegible]
紙の[illegible]の[illegible]
[illegible]くとあるかの同じ[illegible]
むしぶくしたかうれ[illegible]
[illegible]の[illegible]
が[illegible]とあるとこ[illegible]
[illegible]なるこ[illegible]
[illegible]イヤ[illegible]
[illegible]と[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

安房 ハイ。つゆ。新さんの所へつれてきやす

如雷 そこらもとんでもない。ちゃ。愛てくれて。ちゃ。

安房 さんよさて如雷新さんもこの川岸へ

如雷 成れそうな新さんこの中へ

新さん 成れたらうつくしい

源兵衛 さつめ。源さ。

如雷 こりゃ。ぶ細工なこりゃ。

新さん こりゃ。

源兵衛 なるほど。こりゃ。

如雷 こりゃ。

源兵衛 こりゃ。

安房 こりゃ。

如雷 こりゃ。

安房 こりゃ。

源兵衛 こりゃ。

如雷 こりゃ。

安房 こりゃ。

如雷 こりゃ。

安房 こりゃ。

如雷 こりゃ。

安房

孫兵衛さんのうぢ　松の葉橋
のうぢ新へ
[第]　りんどうえんのあるぢ
[如雷]
[新人名]　ひでうどの
[如雷]　てい
[新人名]　ひでうどの
[如雷]　ゆきさんでたる
[如雷]　ゆきさんでたる
[如雷]　ゆきさんでたる

[illegible]

[illegible]

[illegible]

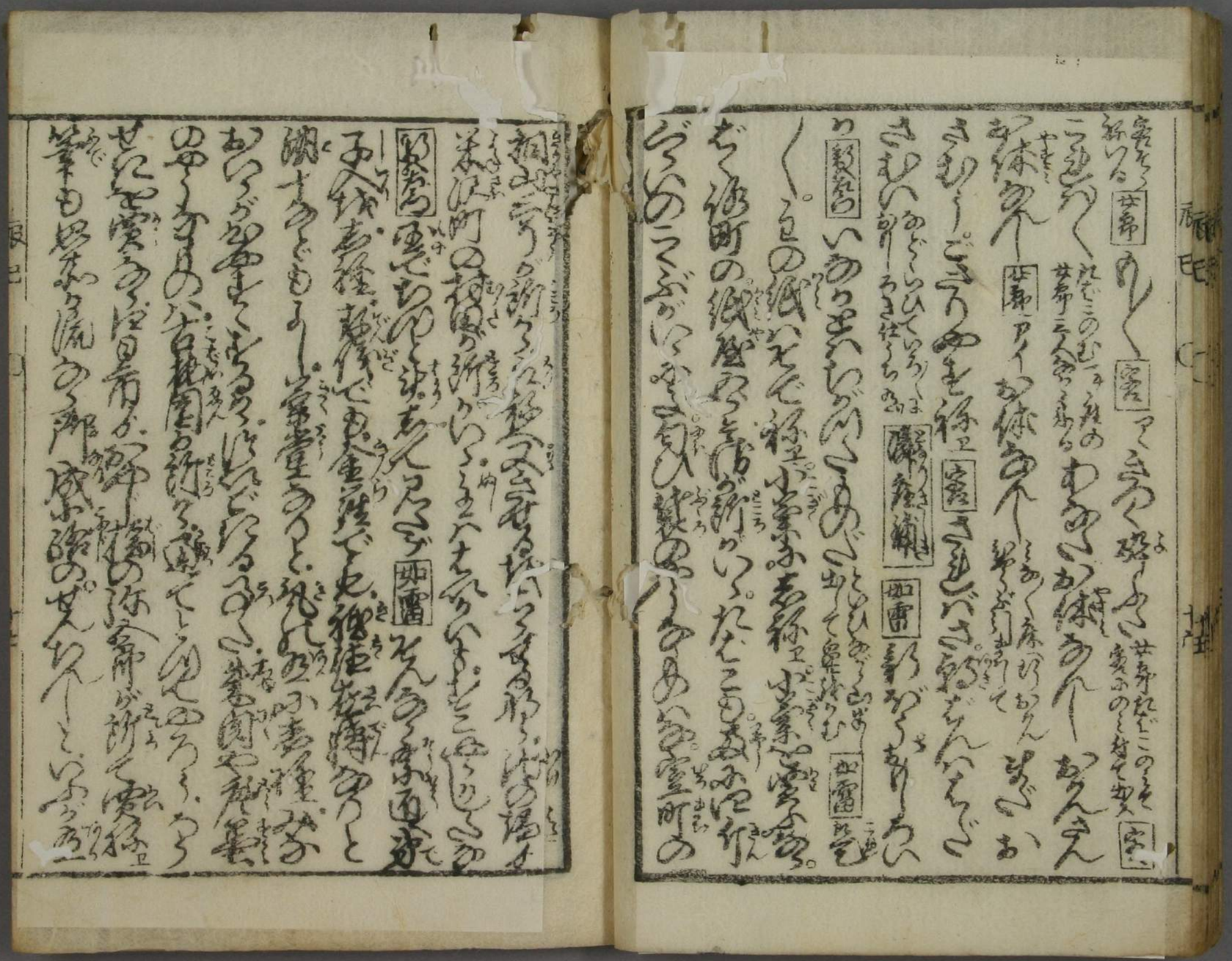
[illegible]

[illegible]

[illegible]

髮と合せ[illegible]
[illegible]
[illegible]
のいぶ[illegible]
[illegible]
[illegible]

柿之丞 ハイこのいもとはくいい様ニ 宮 ホントウニ 柿之丞 ハイ
紙の方ヘ
柿之丞 ハイ
柿之丞 ハイ
宮 ハイ 宮 ハイ
柿之丞 ハイ
柿之丞 ハイ
柿之丞



[illegible]

[illegible]

[illegible]

そも琴の開の門出の祝の
と対し 世間 琴開の琴とこそ
同じ琴の琴の極の 世間 ものさし
極の 世間 ものさし 世 ものさし
ものさし 世 袈裟の裏の
ものさし 世 イ 横笛の
ものさし 世 ものさし 世 ものさし
の関の原の 世 ものさし 世 又
ものさし 世 ものさし 世 ものさし

ものさし 世 ものさし 世 ナ ものさし
ものさし 世 そんなもの ものさし
ものさし 世 ものさし 世 ものさし
ものさし 世 ものさし 世 ものさし
ものさし 世 ものさし 世 ものさし
ものさし 世 ものさし 世 ものさし
ものさし 世 セケント コノヨコヒキノカ、子ケヲ
トコリキニキツタ 世 イキマカニシキコ、ウクサカ
ンカ、ニセコツテクヘルクカ、ヲカリコレケマカテケト

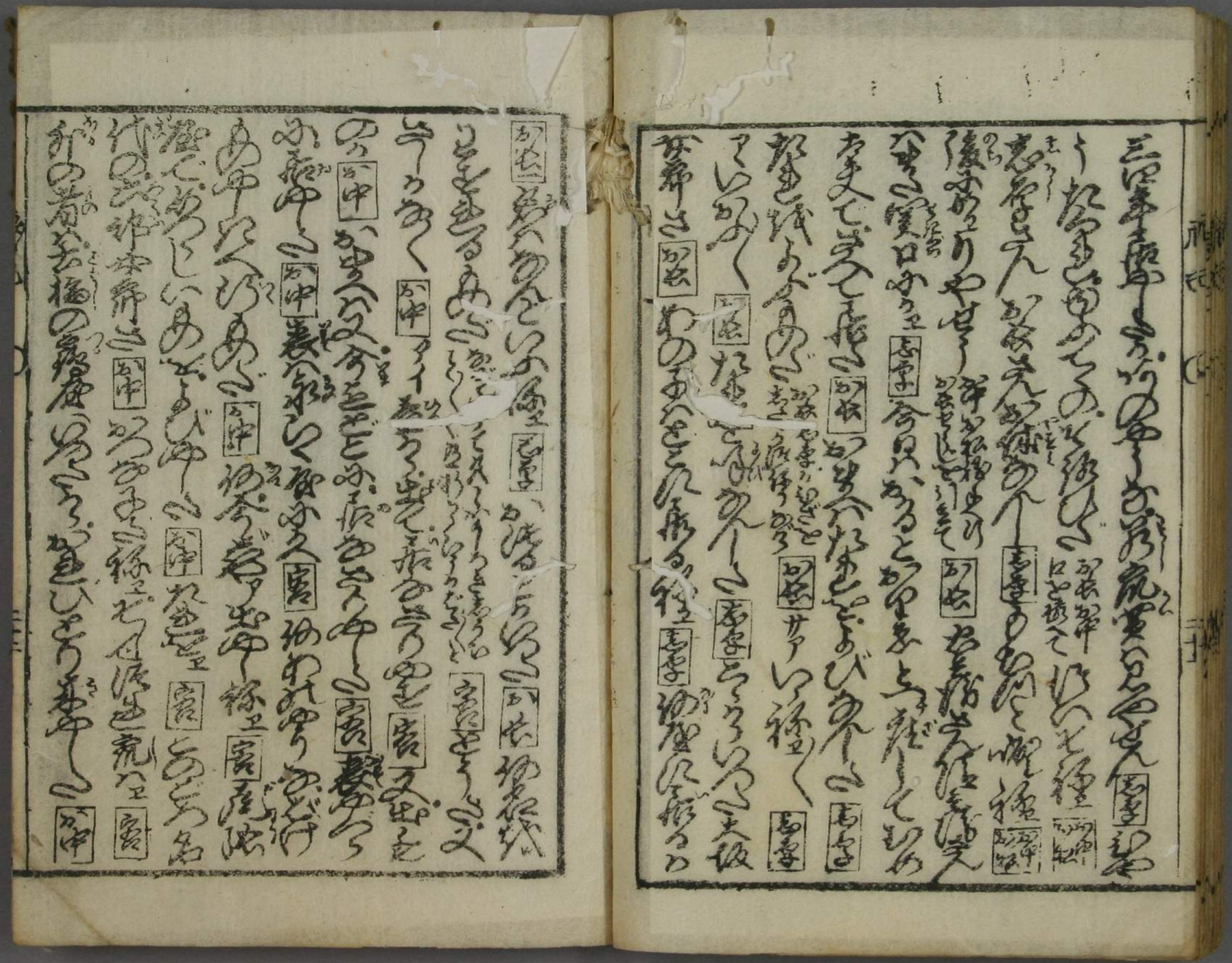
イキウクテク、レケナカサカイキ
やそよ
のかぶ
かぶ
かぶ
か

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]



[illegible]

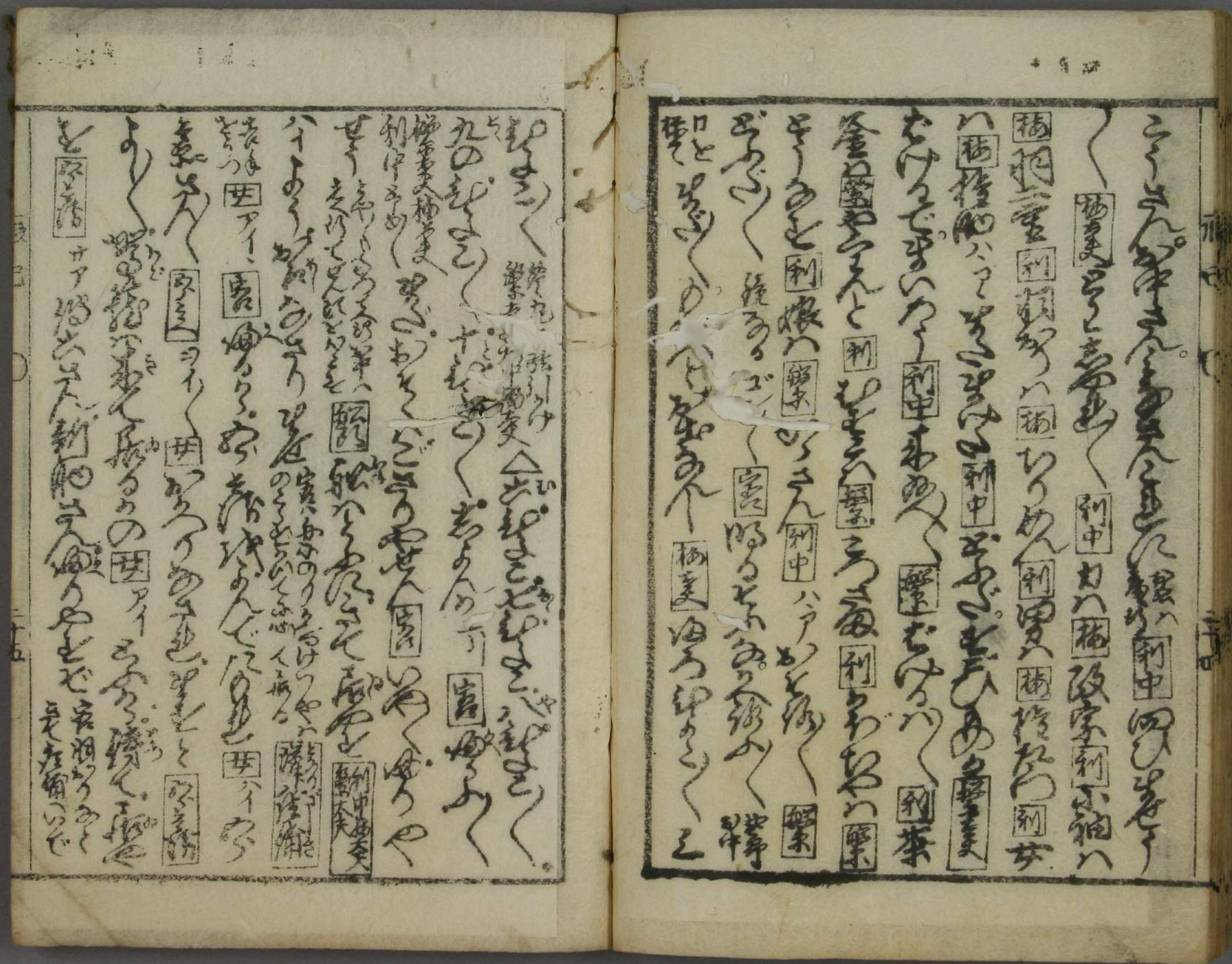
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]



通言

○だゝ〳〵い
○ゑのてゑ
○ゆゝかゝ
○けゝかゝ
○うそゝ孫
○ぞゝ
○ゑんゑん
○こゝいてゝ

○よういふまのこ

○ひへで種

上後手作

○かさのこ

○ひ

○ひ

○ひ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

再版

夢中散人
寝言先生著

○目録　板元　江戸駿河町四丁目　多田屋利兵衛

廓乃大帳　全一冊　山東京傳著
まつさきの京だんまち子屋の世界をとり組ちらつと見せ〜〜幕のうちさぶり

婦美車紫廓　全　再刊
諸国色里の風俗を方々とりづ絵にかきてれた品川の売とさぶす

廓中奇譚　全　再刊
全盛の君がまことを君の情をうつしてうちんふつゝ絵とえたとえは用し

辰巳之園 全 再刊

洞房妓談 山東京傳著 繁昌十話

海川のさハぎよハ氣を天井へあげき其間中のうんさんよハ氣うつのやふをとそ

ちげく聖法よりそらくし高世ひめとぬきのうぐちをうぶりさいさふうのあそびの正うやう

田舍老人著 遊子方言叙 全

仏れしさあれそんーー通書ハそーーまりこ

蓬来山人著 多地の新売 全

これも仏道茂さあ出そんーの書写

南閨雜話 全 夢中山人著

日本橋より西川三里ニ丁十八丁大師河原目黒境内引とる富のうかちなり

かふ神の講釋 全 通野喜氣著

世帝八雲紙ちやなさす客ハやくそくを忘れぬで先祥ハけ色男正直のかみなり

格子戯語 全 振鷺亭著

先生主ろれ家徒にけーーく取りめく取ればーてやぼ男やとろぬ客人のねごと

自惚鏡 全 振鷺亭著

そもしく式本一度見る宝ハそろとちくなにとなくヨ

記原情語（きげんじょうご） 全

蓬萬通人著

あま称く世間と客れいき
おおもむ記を矢ドなる言語
世間買をなドなり

俗談諺種（ぞくだんことわざたね） 全

此書ハ海軍諺語ヲ
始メる者ハ儲
る教訓のを乃ち

誓引 小本

連歌俳諧の句題
書を題毒のちか
ひとり出もれなし